

# 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

## ■会 員 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

正会員 477 名 (フリーランス 369 名、インハウス 38 名、団体・学校 70 名)

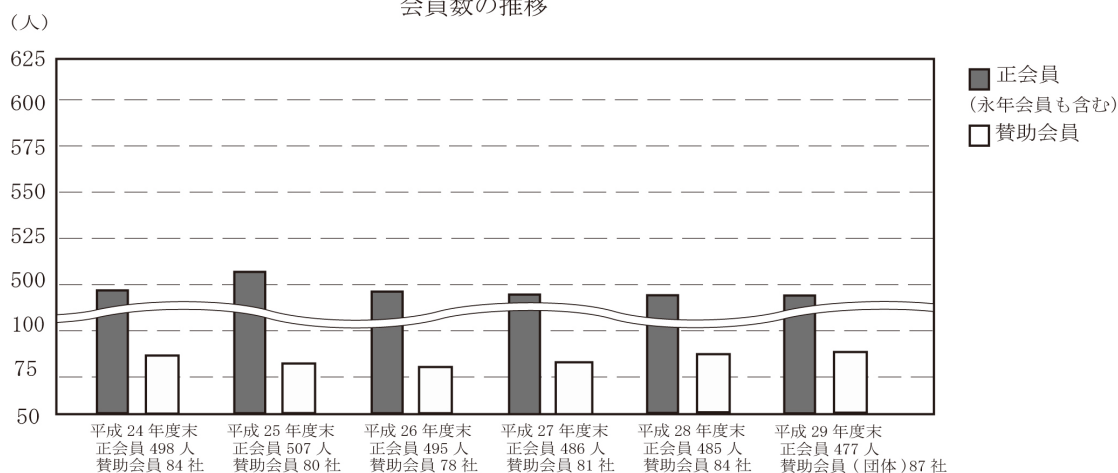
[内 永年会員 103 名、入会 14 名、退会 18 名、死亡 2 名]

賛助会員 (団体) 87 社 180 口 (入会 5 社、退会 2 社)、賛助会員 (個人) 1 名

準会員 19 名

学生会員 19 名

会員数の推移



## ■会 議

### 1. 総 会

定時総会

平成 29 年 6 月 3 日 (土) 午後 2 時 05 分～3 時 15 分、AXIS ギャラリーにおいて第 49 回定時総会を開き、下記議案を議決した。

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び収支決算の件

第 2 号議案 平成 29-30 年度役員選任の件

第 3 号議案 会員規程改定の件

### 2. ブロック総会

平成 29 年度、下記の会場において開かれた。

東日本ブロック：平成 29 年 6 月 3 日 会場 AXIS ギャラリー

中 部ブロック：平成 29 年 6 月 17 日 会場 ブラザーコミュニケーションスペース

北 陸ブロック：平成 29 年 6 月 10 日 会場 金沢美術工芸大学

関 西ブロック：平成 29 年 6 月 11 日 会場 グランフロント大阪

西日本ブロック：平成 29 年 6 月 27 日 会場 ひろしま美術研究所

### 3. 理 事 会

以下の件について議決、検討、審議、報告を行なった。

#### 第 1 回理事会 (4/16 東京)

入会審査と承認、会員規程改定の件、デザインミュージアムコレクション運用規則変更の件、事務局長承認の件、会員種別変更の件、インハウス委員会設置の件、受託事業規程改定の件、DIA 契約の件、入会金引き下げ検討・ブロック拠出金検討の件、業務執行担当理事報告 (委員会・エリア活動報告)、事務局諸報告

#### みなし(メール)理事会 (5/1)

会員規程改定 (案) の件

#### みなし(メール)理事会 (5/11)

平成 28 年度事業報告および決算 (案) の件

## 臨時理事会 (6/3 東京)

理事長及び副理事長の選定に関する件

## 第2回理事会 (6/4 東京)

プロダクトデザイン検定今後の展開、アクレディット委員会・教育委員会組織の件、受託事業規程改定案の件、JIDA 講演委託契約書の件、スタンダード委員会キッズデザイン部会 貝印 (株) との契約の件、業務執行担当理事報告 (委員会・エリア活動報告)、事務局諸報告

## みなし(メール)理事会 (7/25)

受託事業規程 (案)・講師委託契約書 (案) の件

## 第3回理事会 (8/19 TV会議)

入会審査と承認、JIDA 事務局長委嘱契約要領改定 (案) の件、事務局員退職金規程と引当金の件、ADA 中国 CIDA から  
の提案について、業務執行担当理事報告 (委員会・エリア活動報告)、事務局諸報告

## みなし(メール)理事会 (9/12)

JIDA 事務局長委嘱契約要領 (改定案) 及び前事務局長への退職慰労金支払いの承認の件

## 第4回理事会 (10/21 名古屋)

入会審査と承認、JIDA 事務局職員の退職金引当積立制度と関連規則の見直し(案)、賃金等規則 (改定案) の件、JIDA  
デザインミュージアムセレクション事業選定運営規則 (改定案) の件、JIDA セレクション 20 周年記念事業の件、東大  
阪市 (近畿大学) 都市ブランド形成推進事業受託計画の件、JIDA フォーラムの開催について、業務執行担当理事報告 (委  
員会・エリア活動報告)、事務局諸報告

## 第5回理事会 (12/16 東京)

理事長報告、業務執行理事報告、入会審査と承認、平成 30 年度予算について、JIDA パンフレットの件、会員サービス  
の件、スタンダードサンプル帳中国販売の件、ジャパソフ展示・JIDA ブース出展カベタンスペシャルの件、委員会・エ  
リア活動報告、事務局諸報告

## 第6回理事会 (2018/2/17 東京)

理事長報告、業務執行理事報告、入会審査と承認、慶弔事規程 (改定案) の件、平成 29 年度永年会員の件、平成 30  
年度予算案について、中国へのサンプル帳輸出に伴う商標登録の件、委員会・エリア活動報告、事務局諸報告

## みなし(メール)理事会 (2018/3/1)

入会承認の件

## みなし(メール)理事会 (2018/3/9)

平成 30 年度事業計画・収支予算 (案) の件、資金調達及び設備投資の見込について

理事会出欠状況

※第1回のみ (平成 27-28 年度役員により開催)

### ●出席回数 ( ) 内は出席回数

理事：田中一雄 (1) 金井宏水 (1) 石田聖次 (1) 入江あずさ (1) 上田幸和 (0)  
岡田英志 (1) 黄ロビン (1) 関本隆次 (1) 平川真紀 (1) 藤本英子 (1)  
御園秀一 (1) 山田晃三 (1) 吉田晃永 (1)  
監事：浅香 嵩 (1) 鈴木宏明 (1)

### ●欠席回数 ( ) 内は欠席回数

理事：田中一雄 (0) 金井宏水 (0) 石田聖次 (0) 入江あずさ (0) 上田幸和 (1)  
岡田英志 (0) 黄ロビン (0) 関本隆次 (0) 平川真紀 (0) 藤本英子 (0)  
御園秀一 (0) 山田晃三 (0) 吉田晃永 (0)  
監事：浅香 嵩 (0) 鈴木宏明 (0)

※第2回以降 (平成 29-30 年度役員により開催)

### ●出席回数 ( ) 内は出席回数

理事：田中一雄 (5) 御園秀一 (5) 入江あずさ (5) 上田幸和 (4) 黄ロビン (5)  
佐藤敏明 (5) 佐野 正 (5) 関本隆次 (5) 平川真紀 (5) 藤本英子 (5)  
弥中敏和 (5) 山口正幸 (5) 山田晃三 (5)  
監事：浅香 嵩 (5) 長谷高史 (4)

### ●欠席回数 ( ) 内は欠席回数

理事：田中一雄 (0) 御園秀一 (0) 入江あずさ (0) 上田幸和 (1) 黄ロビン (0)

佐藤敏明 (0) 佐野 正 (0) 関本隆次 (0) 平川真紀 (0) 藤本英子 (0)  
弥中敏和 (0) 山口正幸 (0) 山田晃三 (0)  
監事：浅香 嵩 (0) 長谷高史 (1)

#### 4. 合同連絡会議

春季合同連絡会議 (6/4 東京)

ビジョン委員会 2017 年活動内容の件、ブロック改革の件、エリア制についての検討の件、インハウス委員会設置に伴う賛助会員増加方策の件

秋季合同連絡会議 (10/21 名古屋)

エリア制再確認の件、JIDA アワード、学生賞について、研究会・委員会名統一の件、各ブロックの横断的なイベント告知のやり方について、JIDA シニア問題の現状について

#### 5. 平成 29 年度活動総括概要 理事長：田中一雄

##### ●求められる「新協会運営体制」

JIDA は日本唯一の全国的なインダストリアルデザイナー団体として 65 年を超える活動を続けてまいりました。センター活動の各委員会においては、「世界の中の日本の JIDA」としてインダストリアルデザイン界全体を見据えて活動しています。一方、各地域のエリア及びブロック活動においては、職能団体として「地域ネットワーク」に根差した活動を続けて来ました。こうした両面性は、公益社団法人としての価値と同時に、職能性に根差した共益的な価値でもあります。実態的にはこの二つの価値が、相互に関連しつつ活動していますが、常に協会活動全体を客観化しつつ行動することが必要であると考えます。

協会の収支は活動の基盤ですが、大変残念ながら平成 29 年度は黒字化することが出来ませんでした。これは、当初予算化されていなかった退職引当金の新規導入によるものですが、予算全体としても極めて危うい状況であったことを認識しておかなくてはならないでしょう。各事業を振り返ってみますと、受託事業とデザインミュージアム・セレクション事業などが計画を上回りましたが、その他は残念ながら比較的低調でした。JIDA は、基本的に会員の会費によって運営されていますが、各種事業における収支も重要な要素です。各委員会と各ブロック活動は、単一事業としては黒字であっても、その背景には協会全体や各エリアを運営する様々な事務経費が存在し、それによって事業が支えられています。各種の個別活動収支が拮抗している場合は、結果的に協会全体として脆弱な財務状況となっていることも、会員各位にご認識頂かなくてはならない状況にあります。

今後は、各種事業の収支バランスの更なる精査を進めるとともに、協会全体の運営体制の再検討が求められる局面となっています。このような観点から、29 年度の各委員会・ブロック活動を振り返ってみたいと思います。

##### ・内務委員会

昨年に引き続き協会運営上の課題対策が積極的に検討され、各種の規約・規程の見直しなどが進められた。特に本年は、協会が目的としているインダストリアルデザインの普及啓発事業を更に広げるために、受託事業を強化する方針が出された。その成果として地方自治体や海外企業からの受託事業が複数実施されたが、それらの事業運営に於ける公正性、コンプライアンス視点からのサポートに注力した 1 年となった。

##### ・広報委員会

29 年度においては、公式 Web サイトの大幅なリニューアルと運営を行うほか、Web マガジンの運営、公式 Facebook を用いた広報活動の継続をおこなった。また、昨年度に引き続きアニュアルレポートの発刊を行うほか、JIDA 公式パンフレット（日本語版、英語版）のリニューアルを実施し、広報ツールとしての活用を推進した。その他、季刊誌カースタイリング JIDA ページへの記事提供の継続、紙媒体としての Face Letter の発行などを実施した。広報活動は、JIDA の価値を社会に発信する重要な役割を担っているが、慢性的な体力不足と資金難が課題となっており、協会活動全体としての更なる支援が必要とされる。

##### ・渉外委員会

本年も、多様な渉外交流活動が活発に行われた。特に、本年度は継続的な活動に加え、新たに国内外からの委託事業を実施し高い評価を得ている。一方、新たな事業の開始に伴い、規程や事務処理等での課題も見えてきた。現在、渉外委員会担当事業が多岐に渡るため、再編新設された教育委員会に国際学生ワークショップである ADA 事業を移管する他、インハウス委員会へも一部事業を移管した。

##### ・ビジョン委員会

29 年度は、前年に引き続き理念的、事業的、広報的側面から、「フォーラム・会員サービス・学生アワード・広報充実」中心に活動をおこなった。特に JIDA フォーラム「インダストリアルデザインのプロフェッショナルリズム」は、今後も継続的に実施していく予定である。

##### ・職能委員会

インダストリアルデザイナーの今日的定義化と、その役割認知および地位向上、デザイン業の事業環境整備を目指して活動している。本年も、弁理士会との定期研究会、知財関連セミナー実施やサポート活動、PD 検定普及促進、資格認証制度に向けての準備などを進めた。本委員会においては、PD 検定活動の更なる推進が課題となっているが、人的、財務的体制の強化が求められる。

#### ・スタンダード委員会

過年度に引き続き、セミナー部会では、各種素材や加工技術に関する勉強会を4回実施した。また、サンプル部会では、スタンダードサンプルやキッズデザインツールなどの販売を継続的に実施し、一定程度の収入を確保した。その他、産総研と消防庁との共同研究活動を進めた他、日本デザイン学会春季大会において発表・展示を行い、JIDA とデザイン学会との連携強化に努めた。

#### ・デザインミュージアム委員会

本年は、JIDA DM1 号館開設20周年記念事業を、信州新町美術館を含めて大々的に実施したことが特徴である。また、ミュージアムセレクション事業においては、本年も充実した活動を展開し、選定品の質・量ともに着実な向上となった。ゴールドセレクション賞も4年目に入り更なる定着を見せ、賛助会員企業からの参加意識の高まりがみられたことは、大きな成果であった。

#### ・教育委員会

渉外委員会より引き継がれた、ADA(Asia Designers Assembly)国際学生デザインワークショップを、久留米市の石橋文化センターの勤労青少年ホールで開催し高い評価を得た。このワークショップには、(公財)三菱UFJ国際財団と(公財)久留米観光コンペティション国際交流協会の助成を受けたのと同時に、(公財)石橋財団の支援によるものも大きく、今後も継続的な実施が望まれている。また、留学生交流会、三井化学「産学連携プロジェクト」選定委託事業、専門学校の教育課程編成委員会外部委員の派遣などを実施した。

#### ・インハウス委員会

本年度より、東日本ブロックから分離しセンター委員会活動として運営している。これは、協会全体として賛助会員企業への存在感強化と、価値提供の推進を目指すものである。中心となるインハウス女性デザイナー研究会は第31期を迎え、本年も充実した活動が行われた。その他、社会視点からのインダストリアルデザインと異業種の取り組み強化を目指し、木育デザインフォーラムを実施し、多数の参加を得ることができた。

#### ・東エリア

最大規模のエリアとしてセンター活動とも連携し、多様なイベント・セミナー運営など活発な活動を行っている。今年度からは新たにユニット制を敷き、ブロック長のもと十名の運営委員メンバーが研究会活動全体を支援する体制とした。今までは、有志での自発的活動がメインであった委員会・研究会活動を“デザイナーのバリューアップ”を目指すため、真に有益な活動として全面的に再構築した。また「ソーシャル・スキル・ビジネス」と目的別に3つのユニットに分類し、イベントやセミナーも幅広く開催した。

#### ・中エリア

本年も昨年に引き続き、セミナー、ワークショップ、サロン、交流会を開催するとともに、デザイン大学卒業制作展を訪問し表彰活動を行った。また、北陸ブロックにおいては、地場産業デザインのトレンド発信として、積極的なセミナー展開を実施している。また、エリア会議においては、3エリア連携策の検討を推進した。

#### ・西エリア

関西ブロックでは、センター委員会と同様に、総務・広報・ミュージアム・スタンダード・教育・職能など委員会を中心に、数多くのセミナー、フォーラム、ワークショップ、サロン、研究会、交流会、見学会などが開催された。また、JIDA 関西ブロック学生デザイン賞を実施し、次世代への協会認知度の向上と、エリア連携へ足がかりとした。西日本ブロックでは、対象地域が広範囲に亘る中、引き続き積極的な交流活動を展開した

このような多様な活動を通じ JIDA は、インダストリアルデザインの職能を基盤に「ビジョン発信、ネットワーキング、職能支援、人材育成、社会貢献」などの活動を続けています。今後とも、会員と社会に必要とされる JIDA を強化推進し、より力強いものとして参りたいと存じます。会員各位のなご一層のご理解と、ご支援をお願い申し上げます。

デザインの普及啓発及び教育目的のセミナーおよび体験活動事業は、JIDA の活動の柱であり最も大きなボリュームを占めている。30年度もさらに魅力ある企画の立案に注力し、広く一般にも海外にも門戸を広げた参加者にデザインの価値を訴えていく活動をさらに強化する。

平成29年度

# 決算報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

## 目 次

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書

III 正味財産増減計算書内訳表

IV 財務諸表に対する注記

V 附属明細書

VI 財産目録

東京都港区六本木五丁目 1 7 番 1 号

公益社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会

# I 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
[資産の部]			
【流動資産】			
現金預金	12,023,955	11,442,575	581,380
未収会費	760,000	903,000	△ 143,000
未収金	673,697	455,796	217,901
商品	1,717,406	1,513,372	204,034
原材料	167,456	1,217,166	△ 1,049,710
貯蔵品	870,988	470,715	400,273
前払金	412,789	224,991	187,798
流動資産合計	16,626,291	16,227,615	398,676
【固定資産】			
(基本財産)			
JIDA一般・その他基本財産	9,799,214	9,798,235	979
基本財産合計	9,799,214	9,798,235	979
(特定資産)			
周年事業積立資産	2,832,656	2,432,413	400,243
退職金積立預金	313,600	0	313,600
特定資産合計	3,146,256	2,432,413	713,843
(その他固定資産)			
設備造作	592,002	681,823	△ 89,821
什器備品	25	26	△ 1
ミュージアム収蔵品	350,563	350,565	△ 2
電話加入権	100,500	100,500	0
敷金	42,480	42,480	0
保証金	6,489,000	6,489,000	0
その他固定資産合計	7,574,570	7,664,394	△ 89,824
固定資産合計	20,520,040	19,895,042	624,998
資産合計	37,146,331	36,122,657	1,023,674
[負債の部]			
【流動負債】			
未払金	4,499,115	3,519,766	979,349
前受会費	3,144,000	3,091,000	53,000
前受金	0	150,000	△ 150,000
預り金	216,684	140,032	76,652
未払消費税	485,400	502,400	△ 17,000
流動負債合計	8,345,199	7,403,198	942,001
【固定負債】			
退職給付引当金	313,600	0	313,600
固定負債合計	313,600	0	313,600
負債合計	8,658,799	7,403,198	1,255,601
[正味財産の部]			
【一般正味財産】			
一般正味財産	28,487,532	28,719,459	△ 231,927
(うち基本財産への充当額)	( 9,799,214 )	( 9,798,235 )	( 979 )
(うち特定資産への充当額)	( 2,832,656 )	( 2,432,413 )	( 400,243 )
正味財産合計	28,487,532	28,719,459	△ 231,927
負債及び正味財産合計	37,146,331	36,122,657	1,023,674

## Ⅱ 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	450,000	720,000	△ 270,000
受取入会金	450,000	720,000	△ 270,000
受取会費	24,860,000	24,764,000	96,000
正会員受取会費	15,225,000	15,504,000	△ 279,000
準会員受取会費	387,000	360,000	27,000
学生会員受取会費	30,000	0	30,000
賛助会員受取会費	9,218,000	8,900,000	318,000
事業収益	24,633,541	20,284,776	4,348,765
書籍頒布	3,927,280	3,432,086	495,194
検定登録収入・問題使用料	856,440	1,046,520	△ 190,080
展示・セミナー会費収入	12,263,583	11,330,321	933,262
受託事業による収入	5,320,000	2,338,024	2,981,976
その他の活動収入	2,266,238	2,137,825	128,413
受取補助金・寄付金等	6,634,000	5,448,562	1,185,438
受取民間助成金	5,182,000	4,300,000	882,000
寄付金	1,452,000	1,148,562	303,438
雑収益	86,857	64,312	22,545
受取利息	1,276	512	764
その他収益	85,581	63,800	21,781
経常収益計	56,664,398	51,281,650	5,382,748
(2) 経常費用			
事業費	51,314,085	44,822,586	6,491,499
期首棚卸高	3,201,253	2,229,660	971,593
期末棚卸高	△ 2,755,850	△ 3,201,253	445,403
給料手当	8,908,254	8,531,987	376,267
雑給	1,878,688	1,290,772	587,916
退職給付費用	266,560	0	266,560
法定福利費	1,045,985	1,008,151	37,834
旅費交通費	7,388,281	3,218,510	4,169,771
通信運搬費	1,436,184	1,507,841	△ 71,657
会議費	2,492,250	1,878,354	613,896
印刷製本費	4,611,874	4,125,215	486,659
出展料・参加費	726,036	3,062,565	△ 2,336,529
材料費	2,873,128	4,071,188	△ 1,198,060
諸謝金	4,340,918	2,033,716	2,307,202
委託費	3,039,577	3,373,980	△ 334,403
什器・備品購入費	25,798	327,200	△ 301,402
事務用品費	530,419	460,958	69,461
水道光熱費	2,043,913	2,014,993	28,920
賃借料	5,718,155	6,098,820	△ 380,665
団体諸会費	801,630	742,370	59,260
租税公課	614,853	517,793	97,060
懇親会費	787,488	1,057,837	△ 270,349
雑費	1,338,691	471,929	866,762
管理費	5,282,238	4,899,292	382,946
給料手当	1,572,045	1,505,645	66,400
雑給	319,854	657,775	△ 337,921
退職給付費用	47,040	0	47,040
法定福利費	184,586	177,909	6,677
旅費交通費	913,158	397,794	515,364
通信運搬費	140,496	147,506	△ 7,010
設備造作減価償却費	89,821	89,821	0
什器減価償却費	1	5,268	△ 5,267
印刷製本費	192,161	171,884	20,277
諸謝金	87,800	48,600	39,200
委託費	62,032	68,857	△ 6,825
什器・備品購入費	4,914	62,320	△ 57,406
事務用品費	86,347	75,040	11,307
水道光熱費	332,730	328,022	4,708
賃借料	1,009,086	1,076,262	△ 67,176
租税公課	3,927	3,307	620
雑費	236,240	83,282	152,958
経常費用計	56,596,323	49,721,878	6,874,445
当期経常増減額	68,075	1,559,772	△ 1,491,697
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
收藏品受贈益	21	24	△ 3
経常外収益計	21	24	△ 3
(2) 経常外費用			
ミュージアム貯蔵品除却損	23	0	23
未収会費取立不能分	300,000	205,000	95,000
経常外費用計	300,023	205,000	95,023
当期経常外増減額	△ 300,002	△ 204,976	△ 95,026
当期一般正味財産増減額	△ 231,927	1,354,796	△ 1,586,723
一般正味財産期首残高	28,719,459	27,364,663	1,354,796
一般正味財産期末残高	28,487,532	28,719,459	△ 231,927
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	28,487,532	28,719,459	△ 231,927

### Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	225,000	153,000	72,000	450,000
受取入会金	225,000	153,000	72,000	450,000
受取会費	12,430,000	7,541,400	4,888,600	24,860,000
正会員受取会費	7,612,500	4,567,500	3,045,000	15,225,000
準会員受取会費	193,500	193,500	0	387,000
学生会員受取会費	15,000	15,000	0	30,000
賛助会員受取会費	4,609,000	2,765,400	1,843,600	9,218,000
事業収益	24,440,911	192,630	0	24,633,541
書籍頒布	3,927,280	0	0	3,927,280
検定登録収入・問題使用料	856,440	0	0	856,440
展示・セミナー会費収入	12,263,583	0	0	12,263,583
受託事業による収入	5,320,000	0	0	5,320,000
その他の活動収入	2,073,608	192,630	0	2,266,238
受取補助金・寄付金等	6,634,000	0	0	6,634,000
受取民間助成金	5,182,000	0	0	5,182,000
寄付金	1,452,000	0	0	1,452,000
雑収益	0	0	86,857	86,857
受取利息	0	0	1,276	1,276
その他収益	0	0	85,581	85,581
経常収益計	43,729,911	7,887,030	5,047,457	56,664,398
(2) 経常費用				
事業費	45,036,608	6,277,477		51,314,085
期首棚卸高	3,201,253	0		3,201,253
期末棚卸高	△ 2,755,850	0		△ 2,755,850
給料手当	7,965,027	943,227		8,908,254
雑給	1,878,688	0		1,878,688
退職給付費用	238,336	28,224		266,560
法定福利費	935,234	110,751		1,045,985
旅費交通費	6,641,151	747,130		7,388,281
通信運搬費	1,217,634	218,550		1,436,184
会議費	1,320,892	1,171,358		2,492,250
印刷製本費	3,843,228	768,646		4,611,874
出展料・参加費	726,036	0		726,036
材料費	2,873,128	0		2,873,128
諸謝金	4,340,918	0		4,340,918
委託費	2,698,400	341,177		3,039,577
什器・備品購入費	25,798	0		25,798
事務用品費	437,904	92,515		530,419
水道光熱費	1,853,782	190,131		2,043,913
賃借料	5,179,976	538,179		5,718,155
団体諸会費	609,239	192,391		801,630
租税公課	608,887	5,966		614,853
懇親会費	0	787,488		787,488
雑費	1,196,947	141,744		1,338,691
管理費			5,282,238	5,282,238
給料手当			1,572,045	1,572,045
雑給			319,854	319,854
退職給付費用			47,040	47,040
法定福利費			184,586	184,586
旅費交通費			913,158	913,158
通信運搬費			140,496	140,496
設備造作減価償却費			89,821	89,821
什器減価償却費			1	1
印刷製本費			192,161	192,161
諸謝金			87,800	87,800
委託費			62,032	62,032
什器・備品購入費			4,914	4,914
事務用品費			86,347	86,347
水道光熱費			332,730	332,730
賃借料			1,009,086	1,009,086
租税公課			3,927	3,927
雑費			236,240	236,240
経常費用計	45,036,608	6,277,477	5,282,238	56,596,323
当期経常増減額	△ 1,306,697	1,609,553	△ 234,781	68,075
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
収蔵品受贈益	21	0	0	21
経常外収益計	21	0	0	21
(2) 経常外費用				
ミュージアム貯蔵品除却損	23	0	0	23
未収会費取立不能分	0	0	300,000	300,000
経常外費用計	23	0	300,000	300,023
当期経常外増減額	△ 2	0	△ 300,000	△ 300,002
他会計振替額	1,226,661	△ 1,226,661	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 80,038	382,892	△ 534,781	△ 231,927
一般正味財産期首残高	△ 4,248,343	7,988,090	24,979,712	28,719,459
一般正味財産期末残高	△ 4,328,381	8,370,982	24,444,931	28,487,532
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 4,328,381	8,370,982	24,444,931	28,487,532



## IV 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

市場価額のあるものは、時価法を採用している。

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

その他のものは原価法を採用している。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

材料及び貯蔵品は最終仕入原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法

設備造作については、旧定額法及び定額法を採用している。

什器備品については、旧定額法及び定額法を採用している。

(4)引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
JIDA基金積立預金	9,798,235	979		9,799,214
小 計	9,798,235	979	0	9,799,214
特定資産				
周年事業積立資産	2,432,413	400,243	0	2,832,656
退職金積立預金	0	313,600	0	313,600
小 計	2,432,413	713,843	0	3,146,256
合 計	12,230,648	714,822	0	12,945,470

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
JIDA基金積立預金	9,799,214	( 0 )	( 9,799,214 )	( - )
小 計	9,799,214	( 0 )	( 9,799,214 )	( 0 )
特定資産				
周年事業積立資産	2,832,656	( 0 )	( 2,832,656 )	( - )
退職金積立預金	313,600	( 0 )	( - )	( 313,600 )
小 計	3,146,256	( 0 )	( 2,832,656 )	( 313,600 )
合 計	12,945,470	( 0 )	( 12,631,870 )	( 313,600 )

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	1,846,455	1,254,453	592,002
什器備品	9,210,661	9,210,636	25
合 計	11,057,116	10,465,089	592,027

6. 関連当事者との取引の内容

開示すべき取引は該当なし。

7. 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的 使用	その他	
退職給付引当金	0	313,600	0	0	313,600
合 計	0	313,600	0	0	313,600

8. その他

(資産除去債務に関する注記)

当法人は事務所に係る不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復義務を有している。

しかし、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、かつ、将来移転等の予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## V 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に同内容が記載のため省略。

### 2. 引当金の明細

注記に同内容が記載のため省略。

## VI 財産目録

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【流動資産】</b>			
現金	手許保管	運転資金	1,198,973
預金	普通預金 みずほ銀行六本木支店他	運転資金	5,824,430
	郵便振替 六本木駅前支店	運転資金	5,000,552
未収会費	平成29年度会費	公益目的事業及び法人の管理運営に係る会費の未収分	760,000
未収金	平成29年度事業収入	公益目的事業に係る未収分	673,697
商品	サンプル帳1～5	公益目的事業の頒布品在庫	1,717,406
原材料	サンプル帳仕掛品	公益目的事業の頒布品仕掛品在庫	167,456
貯蔵品	図鑑等	公益目的事業の在庫	870,988
前払金	平成29年度賃料交通費他	公益目的事業に係る前払金	412,789
流動資産合計			16,626,291
<b>【固定資産】</b>			
(基本財産)			
JIDA基金積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の寄附を基本財産として管理	9,799,214
基本財産合計			9,799,214
(特定資産)			
周年事業積立資産	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	2,432,656
	普通預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	400,000
退職金積立預金	普通預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	313,600
特定資産合計			3,146,256
(その他固定資産)			
設備造作	ギャラリー照明設備	公益目的事業及び管理運営に使用	592,002
什器備品	パソコン、机等	公益目的事業及び管理運営に使用	25
ミュージアム収蔵品	ミュージアム収蔵品	公益目的事業及び管理運営に使用	350,563
電話加入権	5回線	公益目的事業及び管理運営に使用	100,500
敷金	展示スペース	公益目的事業及び管理運営に使用	42,480
保証金	事務局分	公益目的事業及び管理運営に使用	6,489,000
その他固定資産合計			7,574,570
固定資産合計			20,520,040
資産合計			37,146,331
<b>【流動負債】</b>			
未払金	平成29年度事業費	公益目的事業及び管理運営に伴う未払い金	4,499,115
前受会費	平成30年度会費	公益目的事業及び管理運営に係る年会費収入	3,144,000
預り金	源泉所得税他	公益目的事業及び管理運営に係る預かり金等	216,684
未払消費税等	平成29年度消費税	公益目的事業及び管理運営に伴う消費税	485,400
流動負債合計			8,345,199
<b>【固定負債】</b>			
退職給付引当金		退職金の支払いに備えている	313,600
固定負債合計			313,600
負債合計			8,658,799
正味財産			28,487,532